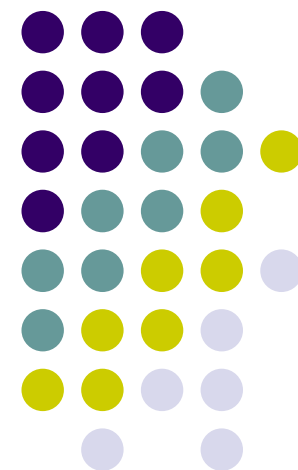


平成23年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

大阪証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本社所在地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代表者 : 大村日出雄
- 設立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資本金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事業内容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営業所 : 会津・レーベル湘南
- 研究所 : 包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、アジアを中心とした輸出拡大と政府の経済政策等により、国内消費や生産、設備投資には一定の改善が見られたものの、円高の継続や資源価格の高騰の影響もあって景気の回復は穏やかなペースに留まりました。また、本年3月11日に発生しました東日本大震災は、東北・関東地方を中心に甚大な被害をもたらし、今後の景気動向はますます不透明感を強めることとなりました。当社も仙台事業部が被害を受けましたが、事業的影響を最小化するべく全力を挙げて復興に取り組んでおります。
- 当業界におきましては、平成22年度全国段ボール生産量は前期比102.3%となりました。当事業年度は、原紙価格も安定し、また主原料の加工機械に使用する重油価格も前半は比較的安定しておりましたが、後半は急上昇いたしました。
- 生産量につきましては、段ボールシート60百万m²(前期比5.9%増)、段ボールケース41百万m²(前期比10.5%増)となりました。
- 売上高5,240百万円(前期比4.9%増)となりました。利益面におきましては、当事業年度の初めに営業が個々に目標を計画し、その目標に向かって全力を注いだことと、加工率の高いケース売上額が伸びたこと及び徹底した経費削減等により、経常利益499百万円(前期比11.3%増)となり、仙台事業部被災及び環境関連費用等により、当期純利益218百万円(前期比9.8%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は大阪証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

業績概要①



売上高：前期比4.9%増、経常利益：前期比11.3%増、当期純利益：前期比9.8%減となりました。

(単位：千円)

	当期 (平成23年3月期)	前期 (平成22年3月期)	前期比率
売上高	5,240,055	4,993,693	4.9%
売上総利益	1,600,322	1,526,693	4.8%
営業利益	485,302	436,072	11.3%
経常利益	499,016	448,362	11.3%
当期純利益	218,872	242,634	-9.8%
1株当たり当期純利益(円)	45.49	50.42	



業績概要②

流動資産は増加し、固定資産は有形固定資産の除却等による減少がありました
ましたが、総資産は前期末比5.5%増、自己資本比率67.1%となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成23年3月末)	前期末 (平成22年3月末)
流動資産	3,886,641	3,472,971
現金及び預金	2,287,464	1,907,334
受取手形	532,825	545,566
売掛金	747,175	716,244
たな卸資産	256,862	243,488
その他流動資産	62,314	60,338
固定資産	2,412,959	2,497,963
有形固定資産	2,010,407	2,050,779
無形固定資産	16,324	19,203
投資その他の資産	386,228	427,980
資産合計	6,299,601	5,970,935

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成23年3月末)	前期末 (平成22年3月末)
流動負債	1,490,228	1,375,970
支払手形	941,219	853,131
買掛金	213,920	167,003
未払法人税等	120,490	133,637
その他の流動負債	214,597	222,197
固定負債	583,966	537,928
退職給付引当金	212,378	210,777
役員退職慰労引当金	354,687	327,150
その他	16,900	-
負債合計	2,074,194	1,913,898
純資産合計	4,225,406	4,057,037
負債・純資産合計	6,299,601	5,970,935



業績概要③

(単位:千円)

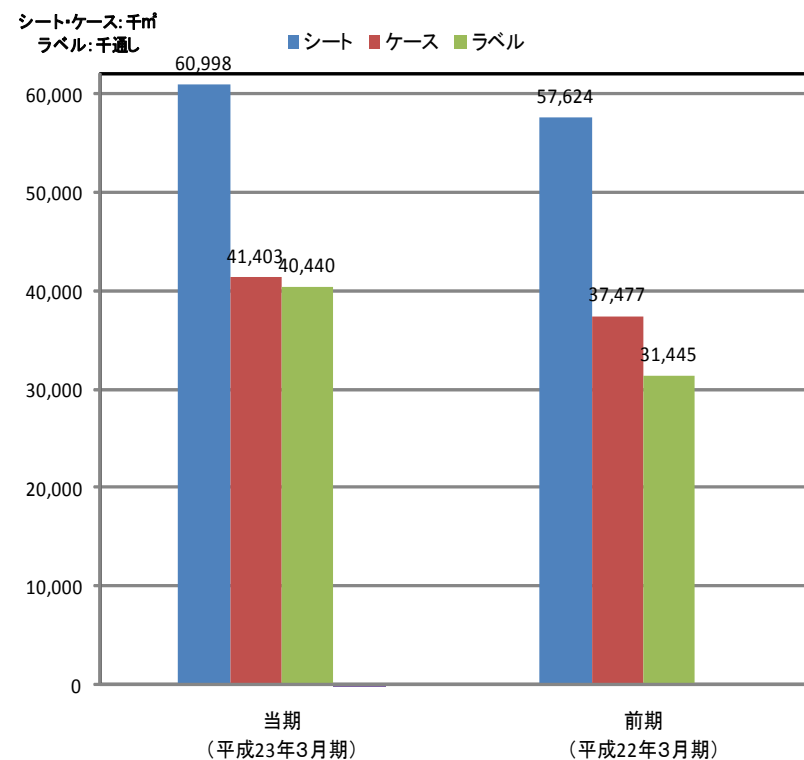
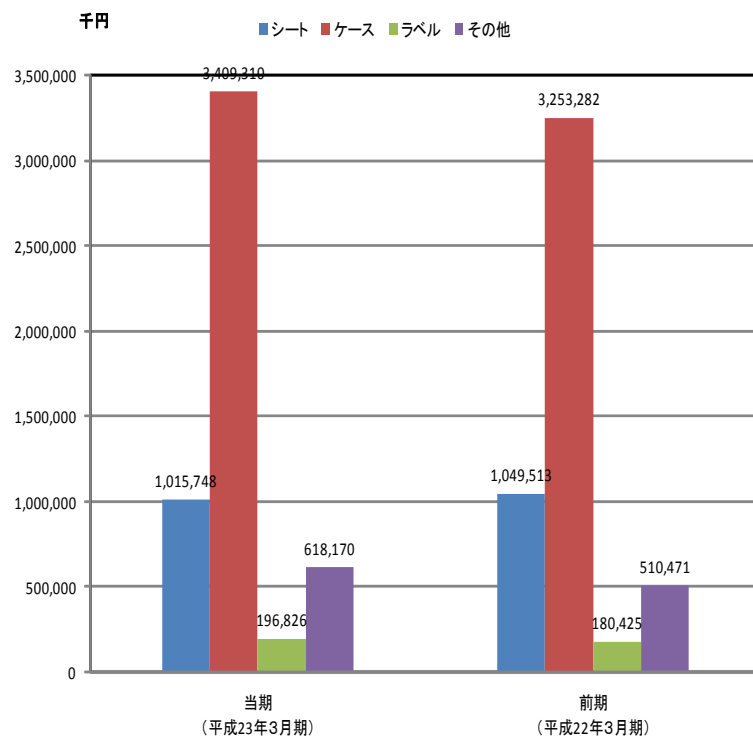
	当期 (平成23年3月期)	前期 (平成22年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	520,832	677,437
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 92,608	▲ 93,263
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 48,155	▲ 48,452
増減額(減少:▲)	380,068	535,721
現金及び現金同等物の 期首残高	1,878,197	1,342,475
現金及び現金同等物の 期末残高	2,258,265	1,878,197



品種別売上高及び生産実績

ケース・ラベル・その他は売上増加、シートは売上減少となりました。

シート・ケース・ラベルともに生産増加となりました。





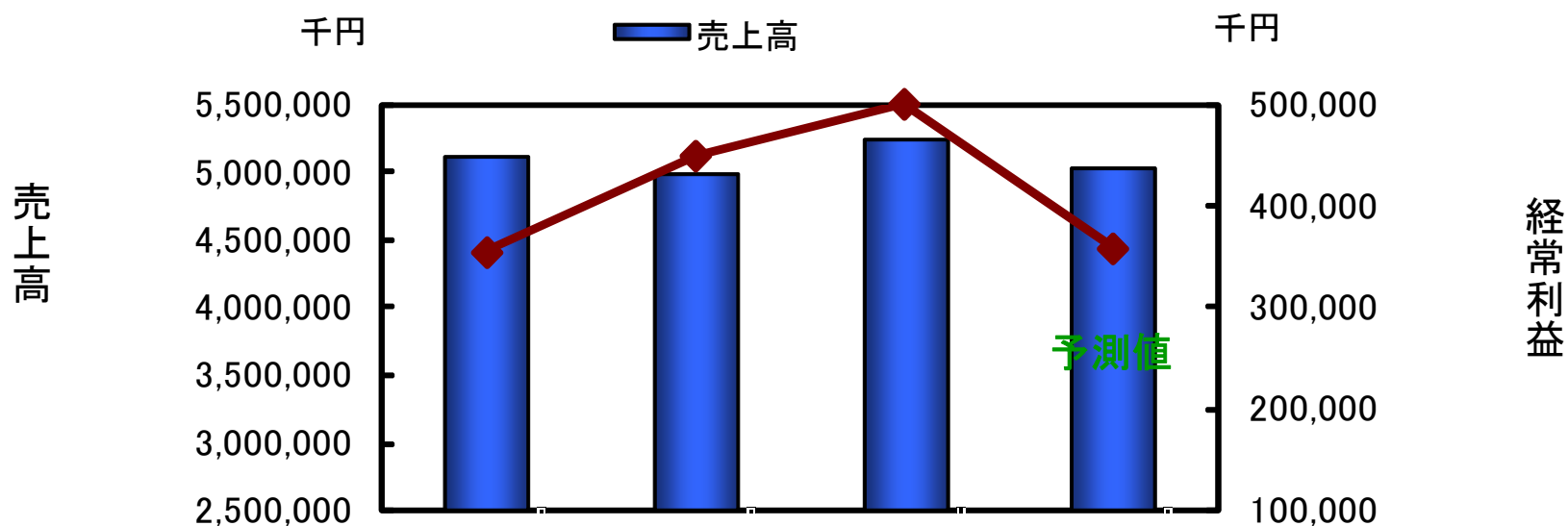
今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、東日本大震災の影響もあり、国内経済も厳しい雇用情勢や個人消費の低迷等により当面は厳しい状況が続くと思われまます。
- 当業界におきましても、国内はもとより輸出関係の段ボールも回復が遅れてくると思われまます。当社といたしましては、このような状況のもと徹底した経費削減と年間を通した販売イベントで出来るだけ利益の確保をしたいと考えております。
- このような見通しのもと、当社の平成24年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,038百万円(前期比3.9%減)、営業利益363百万円(同25.1%減)、経常利益357百万円(同28.3%減)及び当期純利益193百万円(同11.8%減)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



売上高および経常利益の見通し

※売上高5,038百万円(前期比3.9%減)、営業利益363百万円(同25.1%減)、経常利益357百万円(同28.3%減)及び当期純利益193百万円(同11.8%減)を計画しております。



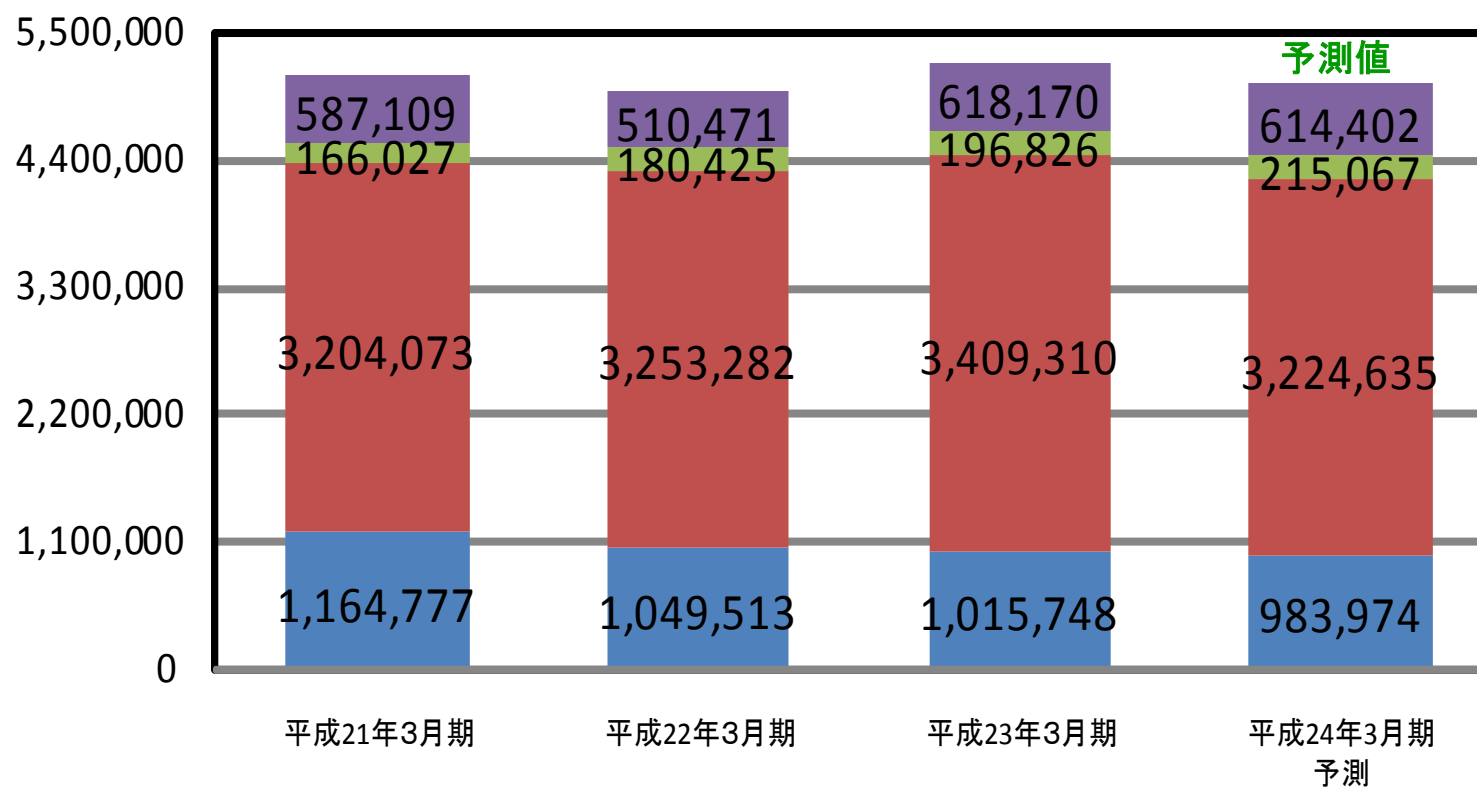
	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期 予測
売上高	5,121,987	4,993,693	5,240,055	5,038,078
経常利益	353,943	448,362	499,016	357,673



品種別売上高の見通し

※シート3.1%減、ケース5.4%減、ラベル9.3%増の見込みであります。

千円 ■ シート ■ ケース ■ ラベル ■ その他





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいきます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。